

外貨預金ってなに

日本の円金利が低下してきた結果、ドルなど外国通貨の利回りの高さが魅力となっています。こうした中、外国銀行のみならず、日本の銀行も外国通貨による預金を積極的に受け入れるようになってきました。

ドルやユーロなど外国通貨による預金を外貨預金といいます。

外貨預金にも円預金と同様にいつでも引き出せる普通預金や、一定の期日を設定した定期預金などがあります。定期預金の金利のほうが普通預金より高いのが一般的です。

預入れ時に、外貨建ての利回りは確定していますが、為替の動きによっては為替差益や為替差損が発生するという、為替リスクを負うことになります。また、預入時と解約時に為替手数料がかかります。

また外貨預金は日本の金融機関が破綻した場合、以前は特例として全額保護されていましたが、ペイオフ解禁後は保護の対象外となりましたので、金融機関選びは慎重に行う必要があります。

外貨預金

- 取扱機関：都市銀行、地方銀行、長期信用銀行、信託銀行、外国銀行など
- 預金種類：普通預金、当座預金、通知預金、定期預金
- 預入金額：普通預金と当座預金は最低1通貨単位。定期預金と通知預金は最低100通貨単位
(ただし銀行によりかなり異なる)
- 預入期間：定期預金は1、3、6、12ヵ月が一般的
- 金利：銀行、通貨、預金種類、預金金額などによりかなり異なる
- 利払い：定期預金は満期一時払い
- 途中換金：普通預金、当座預金はいつでも換金できる。定期預金は原則として中途解約不可
- 税金：利息部分は20%源泉分離課税、元金部分の為替差益損は雑所得扱い



債券への投資

金融とはそもそも、「お金の貸し借り」です。借りた人は借りたお金（元本）はもちろんのこと、それに利子をつけた形で返さなければいけません。安定運用型商品の代表例である債券は、国、地方自治体、企業が資金を調達するための手段であり、一定の期間に対する一定の金利を条件に発行されます。投資者からみると満期償還時まで保有し続ければ、元本と利子が確定している商品と言えます。

債券価格

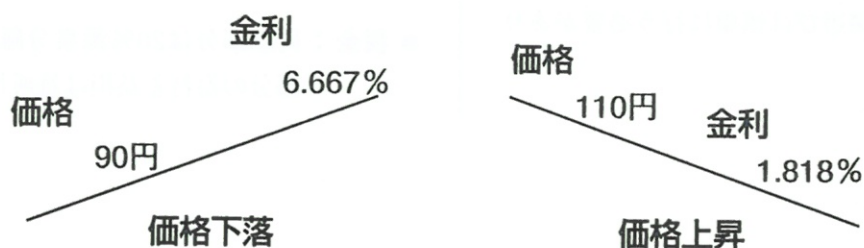
債券は発行された後、規定された取引所において自由に時価に基づき売買することができます。債券の価値はその時々金融情勢や以下の要因などによって日々変動します。

- 発行者の取引信用度
- 現在の金利
- 満期になるまでの時間

表面金利4.000%、残存期間5年の最終利回り

価格	金利
100円	4.000%

額面



四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |